

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年12月7日（月）

2 確認箇所

6号機廃棄物処理建屋大物搬入口付近

3 確認項目

6号機廃棄物処理建屋大物搬入口前における水の漏えい

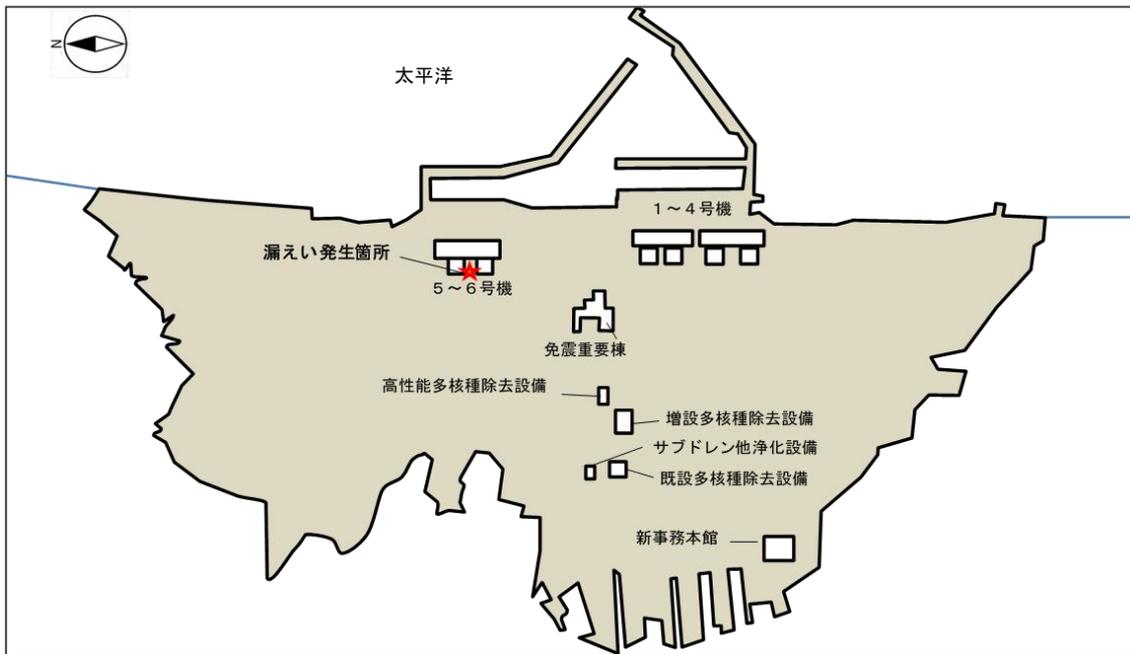
4 確認結果の概要

12月4日午後11時5分頃、ケーブル洞道^{※1}に設置されていた仮設ポンプの電源ケーブルを誤ってコンセントに差し込んだことに伴い、ケーブル洞道内に溜まっていた水が6号機廃棄物処理建屋大物搬入口前のコンクリート面及び側溝に漏えいする事象が発生したことから漏えい水の回収状況等を確認した。（図1、写真1）

東京電力によると、漏えい確認後に誤って差し込んだ電源ケーブルを引き抜いたことにより水の漏えいは停止し、水の漏えい量は約20～40Lと推定しているとのことであった。また、コンクリート面に漏えいした水については回収済みであり、側溝に流れた水については側溝内に留まっており、念のため、側溝内に土のうを設置し、水が流れない対策を講じた後に水を回収したとのことであった。なお、漏えいした水の放射能分析の結果、セシウム134は検出限界値未満（検出限界値： 7.6×10^{-1} Bq/L）、セシウム137が4.1Bq/Lであり、敷地境界モニタリングポストや構内に設置されている連続ダストモニタ等に有意な変動は確認されていないとのことである。

- ・現場確認時（12月7日）、側溝に溜まっていた漏えい水は回収されており、設置されていた土のうも撤去されていた。（写真2）
- ・水移送用のフレキシブルホースはケーブル洞道から6号機廃棄物処理建屋大物搬入口付近まで2本敷設されており、両者共に末端部にはビニール養生が施されていた。（写真3）
- ・東京電力によると、水が漏えいした原因はケーブル洞道内を照らすための仮設照明を点灯するため、本来は仮設照明の電源ケーブルをコンセントに差し込むところ、誤って仮設ポンプの電源ケーブルをコンセントに差し込んだことであり、今後、原因を深掘りし、適切に再発防止対策を講じることであった。

※1 ケーブル洞道 地下に設置された主に電源ケーブルや制御ケーブルを通すためのトンネル



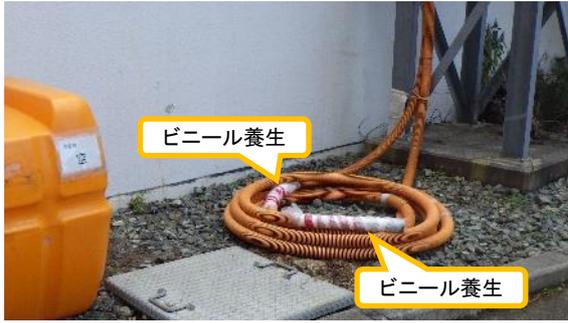
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
漏えい発生箇所
(6号機廃棄物処理建屋大物搬入口前)



(写真2)
水が流入した側溝の状況



(写真 3 - 1)

6号機廃棄物処理建屋大物搬入口
付近のフレキシブルホース末端部



(写真 3 - 2)

ケーブル洞道側付近のフレキシブル
ホース末端部

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。